

株主通信

2014年度第1・第2四半期報告
(2014年4月～2014年9月)

2014年11月 No.39



(注意事項)

本冊子における業績予想や将来の予測等に関する記述は、現時点で入手された情報に基づき合理的と判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性その他の要因が内包されています。従いまして、実際の業績は、見通しと大きく異なる結果となる可能性があります。

目次

Top Message

③ 株主の皆様へ

⑧ 2014年度第2四半期 連結業績ハイライト

⑩ ビジネスハイライト

Special Feature

⑭ 未来への挑戦

～ビジネス現場最前線～

⑳ 復興支援レポート

㉒ CSR

㉔ 会社概要

㉖ 株式情報

表紙の絵



「ゴールデン・アフタヌーン」

(雲肌麻紙に岩絵具 45.5×53.0cm)

秋山 由佳

(多摩美術大学 在学中)

表紙の絵は、三菱商事の社会貢献活動の一つ「三菱商事アート・ゲート・プログラム」、第25回オークションに出品予定の作品です。

三菱商事アート・ゲート・プログラムは、プロを目指す若手アーティストの育成・支援を目的としたプログラムです。公募により作品を1点10万円で購入し、社内外に展示後、オークションにて販売し、その売上金は、プロのアーティストを志す現役学生の奨学金としています。

2013年度の売上金を基に、2014年度は合計1,637万円を16名に給付します。

MITSUBISHI CORPORATION
ART GATE PROGRAM

第25回 チャリティー・オークションのご案内

下記の日程でオークションを開催します。表紙の絵や奨学生の作品を含む52作品の出品を予定しています。皆様のご参加をお待ちしています。

■ 作品展 11月25日(火)～12月4日(木) GYRE(ジャイル) [表参道]

■ オークション 12月6日(土) 15:00～三菱商事ビル [丸の内] ※要事前申込

三菱商事アート・ゲート・プログラム ホームページ

<http://www.mcagp.com/>

会社情報

証券コード: 8058
上場証券取引所: 東京、名古屋、ロンドン
単元株式数: 100株
事業年度: 4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会: 毎年6月開催
期末配当金支払株主確定日: 3月31日
中間配当金支払株主確定日: 9月30日
公告方法: 電子公告

ただし、事故その他やむを得ない事由により、電子公告ができない場合は、官報に掲載します。

<公告掲載アドレス> <http://www.mitsubishicorp.com/>

株主名簿管理人・特別口座管理機関

三菱UFJ信託銀行株式会社

(連絡先) 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

0120-232-711 (通話料無料)

※住所変更等の各種手続きについては、口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。

※支払開始日から満3年を経過していない未受領の配当金、及び特別口座に記録された株式に関するお手続きについては、三菱UFJ信託銀行株式会社にお問い合わせください。

株主の皆様へ

60周年という節目の年を、さらなる成長への新たなスタートと位置付け、『経営戦略2015』を着実に実行し、継続的企業価値の創出に取り組んでいきます。

代表取締役 社長
小林 健



第2四半期連結決算（2014年4月1日から9月30日までの累計期間）

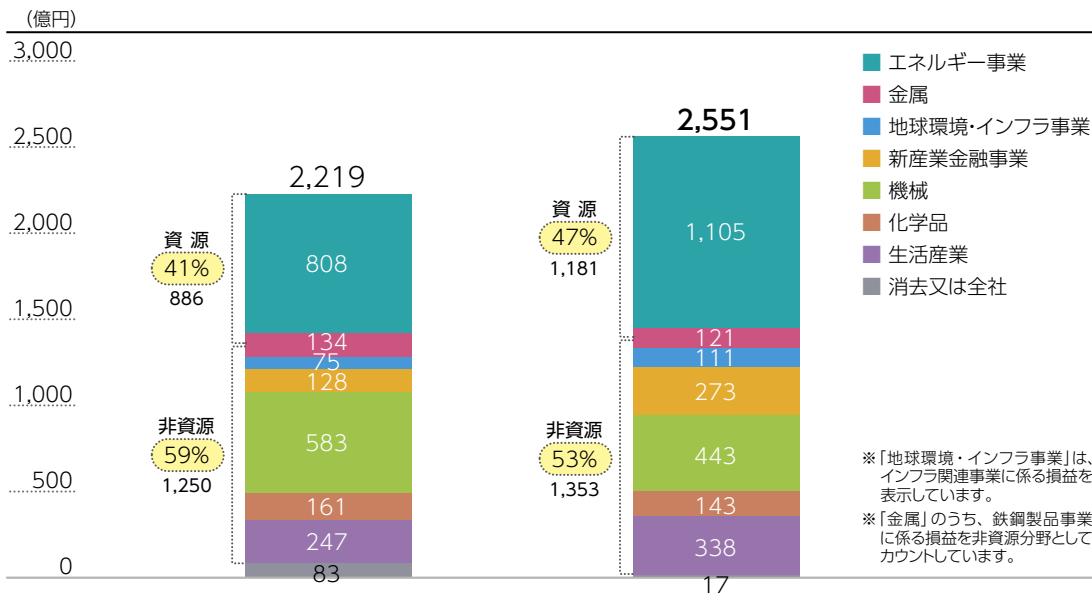
通期業績見通し4,000億円の達成に向け、堅調に推移

2014年度(平成26年度)第2四半期の連結純利益は2,551億円となり、前年同期と比べて15%の増益、通期業績見通し(連結純利益4,000億円)に対して64%の達成率となりました。資源分野では、主にLNGや銅などの資源関連事業投資先からの受取配当金が、非資源分野では、主に新産業金融事業グループにおけるファ

ンド関連事業・不動産事業や生活産業グループにおける飼料畜産関連事業の収益が、それぞれ増加しました。なお、第2四半期の連結純利益における資源分野と非資源分野の構成割合は、ほぼ5:5となっています。

引き続き、通期業績見通しの達成に向け、全社一丸となって邁進していきます。

■ 営業グループ別連結純利益



2013年度第2四半期 (累計)実績	2014年度第2四半期 (累計)実績
--------------------	--------------------

※ 株主通信における「連結純利益」は、非支配持分を除く、当社の所有者に帰属する当期純利益の金額を表示しています。

また、「資本」も、非支配持分を除く、当社の所有者に帰属する持分の金額を表示しています。

※ 上記「営業グループ別連結純利益」のグラフは、国際会計基準に基づき表示しています。

■ 配当

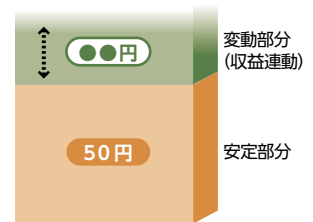
記念配当10円を加算し、40円の間配当を実施

2013年度からの3年間については、環境変化にかかわらず一定の配当を行えるよう、安定部分と変動部分の二段階の株主還元方針としています（右図をご参照ください）。

2014年度の間配当は、期初の予定どおり、創立60周年の記念配当として10円を加算し、1株当たり40円とさせていただきます。

きました。なお、2014年度の年間配当は、通期業績見通しを達成した場合、1株当たり70円を予定しています。

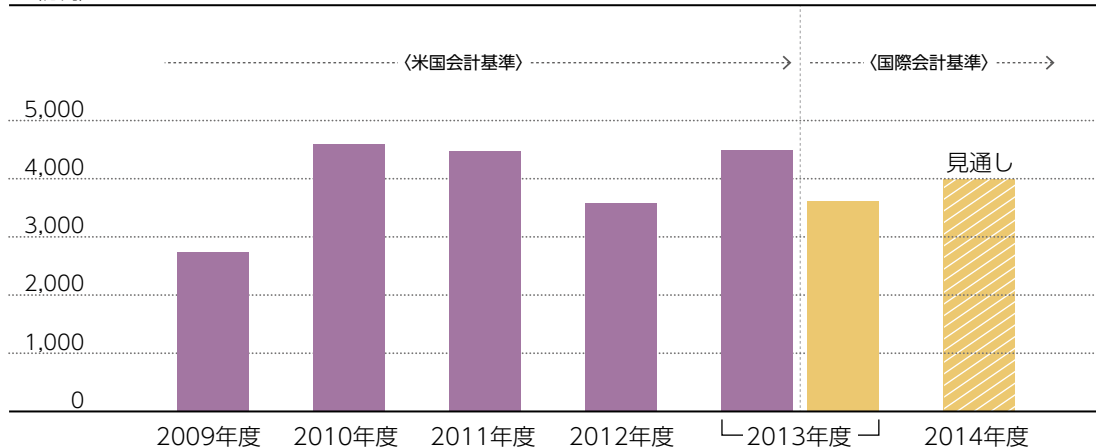
〈株主還元方針〉



$$50円 + \left(\begin{array}{c} 1株当たり連結純利益 \\ (連結純利益3,500億円超部分) \end{array} \right) \times \left(\begin{array}{c} 連結配当性向 \\ 30\%以上 \end{array} \right)$$

■ 連結純利益の推移

(億円)



■ 配当金の推移

中間配当	17円	26円	32円	25円	30円	40円
期末配当	21円	39円	33円	30円	38円	30円
年間	38円	65円	65円	55円	68円	70円

} 予定

※ 2013年度の配当金は、米国会計基準による連結純利益等を基に決定しています。

2020年頃の成長イメージ実現に向けた 取り組みを着実に実行

2014年3月期からの中期経営指針として策定した『経営戦略2015』では、継続的企業価値の創出に向け、継続的にポートフォリオの最適化を図りながら、2020年頃の成長イメージとして掲げる「事業規模の倍増」の具現化を通じ、「三菱商事の価値」を極大化することとしています。

具体的には、資源分野では、前中期経営計画までに投資した既存案件の収益化や操業・開発コストの改善などを通じた持分

生産量の倍増を目指します。また、非資源分野では、新規投資とともに資産の入替えを実施し、ポートフォリオの最適化を図りながら、複数の規模感のある“強い事業”を構築することで連結純利益の倍増を目指します。

『経営戦略2015』の2年目となる2014年度は、第2四半期末までに、資源分野では主に豪州石炭事業やシェールガス事業・LNG事業で、非資源分野では主にファン

■新規投資・資産入替え実績(単位:億円)

		2013年度	2014年度 第2四半期(累計)	2014年度第2四半期(累計)の主な案件
新規投資	資源	3,300	1,200	
	非資源	4,700	2,100	
	合計	8,000	3,300	<ul style="list-style-type: none"> ファンド関連事業・不動産事業 船舶事業
資産入替	資産売却*	5,100	1,800	<ul style="list-style-type: none"> 航空機リース事業 船舶事業 ファンド関連事業
	減価償却	1,700	900	
	合計	6,800	2,700	
ネット投資額		1,200	600	

*「資産売却」の金額に、売却に伴い発生した売却損益は含まれていません。

ド関連事業・不動産事業、船舶事業で、計3,300億円の新規投資を実行しました。一方、資産の入替えについても、引き続き積極的に推進し、ポートフォリオの最適化を図りました(6ページの表をご参照ください)。

また、成長を目指した投資を進める一方、中長期的なROE水準の回復に向けて、資本効率の向上を図っていく方針としており、2014年5月の取締役会で約600億円の自己株式取得を決議し、7月に同株式を消却しました。

2014年7月、三菱商事は創立60周年を迎えました。60周年という節目の年を、さらなる成長に向けての新たなスタートと位置付け、2020年頃の成長イメージの実現を目指すとともに、事業を通じ、地域社会の発展や地球環境の保全に取り組み、グローバルな社会全体の、そして自らの持続的発展につながるよう、社員一丸となって歩みを進めていきます。

今後とも、株主の皆様のご理解とご支援をよろしくお願い申し上げます。



2014年11月

代表取締役 社長

小林 健

2014年度第2四半期(累計)業績

(前年同期比)

連結純利益 2,551 億円 (+ 15%)

配当金 40 円* (+ 10 円)

* 創立60周年の記念配当10円を含む

その他の指標・数字

・ネット有利子負債倍率*	0.9倍
・ネット有利子負債	4兆6,383億円
・資本	5兆2,898億円
・営業キャッシュ・フロー	2,693億円
・投資キャッシュ・フロー	▲1,055億円
・フリーキャッシュ・フロー	1,639億円

* ネット有利子負債倍率: 金利を付けて返済しなければならない債務(銀行からの借入金や、社債、CP(コマーシャルペーパー)など)である有利子負債の総額から、現金および現金同等物などを除いたものがネット有利子負債。ネット有利子負債倍率は、資本との比較により財務の健全性を測る指標。

2014年度通期見通し

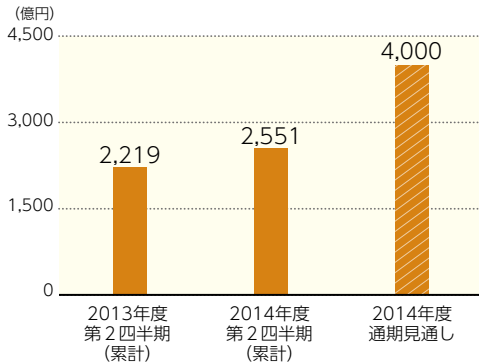
(2013年度比)

連結純利益 4,000 億円 (+ 11%)

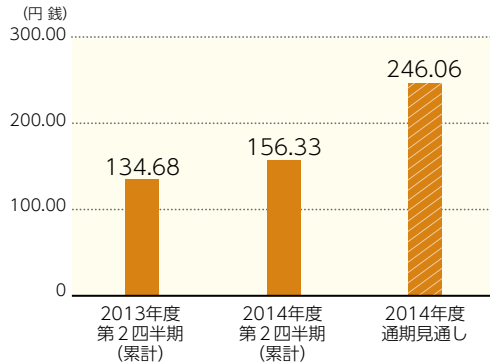
配当金 70 円 (+ 2 円)

業績などの推移

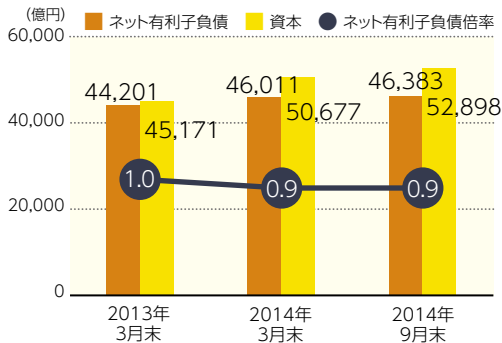
連結純利益



1株当たり連結純利益



資本と有利子負債

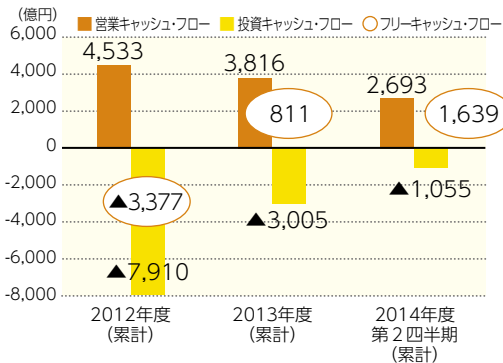


資本の主な増減要因

- ・ 連結純利益の積み上がり (+ 2,551 億円)
- ・ FVTOCI*¹ に指定したその他の投資 (+ 727 億円)
- ・ 在外営業活動体*² の換算差額など (+ 167 億円)
- ・ 自己株式の取得および処分 (▲ 598 億円)
- ・ 配当金の支払い (▲ 626 億円)

*¹ その他包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産
 *² 営業活動の基盤が他国にある子会社、関連会社、支店等

キャッシュ・フロー



キャッシュ・フローの状況

- ・ 営業キャッシュ・フロー (2,693 億円)
営業取引や配当などの収入により、資金が増加
- ・ 投資キャッシュ・フロー (▲ 1,055 億円)
航空機などの売却や貸付金の回収があったものの、豪州石炭事業やエネルギー資源事業への投資などにより、資金が減少

地球環境・インフラ事業グループ

トルコ・イスタンブール地下鉄向け鉄道車両を受注

2014年5月、トルコのイスタンブール市政府と同市の地下鉄向け鉄道車両の供給契約を119百万ユーロ(約160億円)で締結しました。

人口増加が著しいトルコでは、イスタンブールな

ど都市部への人口流入に伴う慢性的な交通渋滞が深刻な社会問題となっており、同市政府は無人運転システムを採用した地下鉄網の整備を推進しています。今回供給する車両は、スペイン最大の鉄道車

両メーカーであるCONSTRUCCIONES Y AUXILIAR DE FERROCARRILES, S.A. (CAF社)製で、トルコ初の完全無人運転システムが採用される予定です。

今後も、三菱商事の無人運転車両の供給実績とプロジェクト遂行力、およびCAF社の価格競争力を強みに、トルコの無人運転システム鉄道網整備への貢献を目指します。



イスタンブール地下鉄 路線図

エネルギー事業グループ

カナダのシェールガス初輸出を目指して

2014年5月、ロイヤルダッチシェル社、韓国ガス公社、中国石油天然気集団とともに、カナダのブリティッシュ・コロンビア州で推進している液化天然ガス(LNG)輸出プラントの共同開発計画「LNGカナダ」に関する合弁事業契約を締結し、本事業の操業会社を設立しました。

本事業は、4社のLNG業界における長年の実績と知見を結集させ、西カナダのLNG開発プロジェクトにおいて主導的な役割を果たし、カナダの豊富なシェールガスを、日本を中心とした市場にLNGとして長期安定供給するものです。本契約の締結をもって、



合弁事業契約の署名式



最終的な投資決定に向けた具体的な準備段階に入ります。

三菱商事は、既に西カナダでシェールガス開発事業を2案件推進しており、これらを供給源としたシェールガスの生産から本事業による液化までのバリューチェーンを構築することで、日本のエネルギー資源の調達源の多様化と長期安定確保に貢献していきます。

オーストラリアでアジア向け穀物調達力を強化

2014年6月、シンガポールの農産物商社 Olam International 社が保有する豪州の穀物事業会社 Olam Grains Australia (OGA 社) の株式 80% を取得することに合意しました。

OGA 社は、東豪州ニューキャッスル港の輸出施設運営会社の株式 32.5% を保有し、年間 100 万トン超の穀物を取り扱っています。OGA 社の株式取得後、三菱商事は輸出施設の運営にも携わり、同国における穀物集荷機能を一層強化するとともに、豪州配合飼料製造・穀物集荷会社 Riverina 社 (三菱商事 100% 出資) とのシナジーを高め、競争力ある豪州産穀物の安定供給体制を構築していきます。



今後も、増大するアジアの需要に対応したグローバルベースでの食糧資源供給ソースの拡大を通じ、競争力のある安全・安心な食糧の安定供給に取り組みます。



(上) 東豪州ニューキャッスル港の輸出施設
(下) 豪州の小麦畑

グローバルインフラファンドとの戦略的提携に合意

2014年7月、グローバルインフラファンド運用会社 I Squared Capital Advisors (US) LLC (ISQ 社) との戦略的提携の合意を発表しました。本提携により、ISQ 社が運用するファンドに対し

て5年間で計1億米ドルの投資を行うとともに、ISQ 社によるインフラ投資案件の発掘や価値向上などに協力していきます。

これまで三菱商事グループは、大手インフラファンドへの出資、海外・国内の年金基金と連携したインフラ共同投資プログラムの立ち上げ、および同プログラムに参画するファンドの組成・運用を行ってきました。これらの取り組みに本提携を加え、積極的にインフラ金融事業を推進するとともに、インフラ投資に関する国内機関投資家のニーズの高まりに対応していきます。



グローバルにインフラ投資を行うファンドISQ社



地球環境・インフラ事業グループ

ドバイの総合水事業会社に資本参画

2014年7月、三菱商事と三菱重工は、国際協力銀行とともに、ドバイを拠点とする総合水事業



Metito 社がカタールに建設した下水処理場

会社 Metito Holdings Ltd. (Metito 社) および同社既存株主との間で、同社株式の一部取得に係る株主間契約を締結しました。

本株式取得後、三菱商事と三菱重工は Metito 社の事業に参画します。

三菱商事の国内外における水事業を通じて蓄積したノウハウおよび三菱重工の大型海水淡水化プラントの納入実績や高い技術の活用に加え、国際協力銀行による支援を受けることで、大幅な成長が見込まれる中東・アフリカ・アジア地域における水事業を展開させ、人々の生活環境向上と地域環境の保全を実現していきます。



生活産業グループ

インドネシアで清涼飲料事業に参入

2014年8月、三菱商事とインドネシア小売最大手アルファグループとの合併会社 PT. Atri Pasifik (AP 社) は、タイの大手飲料会社 Ichitan Group Public Company Limited (イチタン社) との折半出資で、インドネシアに飲料製造販売会社を設立することに合意しました。

新会社は、イチタン社のマーケティング力や商品開発力、AP 社のインドネシアにおける生産・物流面の知見および同国全土を網羅する大手小売チェーンなどの物流網を組み合わせ、現地の消費者に支持される清涼飲料製品の提供を目指します。

三菱商事は、今後も、中間所得層の急拡大を背景に生活必需品の需要が増大する新興国におい

イチタン
ブランドの
茶系飲料



合併事業契約の調印式

て、国内外の有力企業とともに製造分野に本格参入し、新興国市場のニーズに合う「地産地消型」の安全・安心な食品の提供に努めます。

地球環境・インフラ事業グループ

トルクメニスタン向け大型肥料プラントを受注

2014年8月、トルコの建設・不動産開発会社 GAP Insaat Yatirim ve Dis Ticaret A.S. (GAP社) および三菱重工と共同で、トルクメニスタンの国営化学公社トルクメンヒミヤ社から同国最大の肥料プラントを約13億米ドルで受注しました。三菱商事は三菱重工とともにプラントの設計、製

作・機器調達・試運転を行い、GAP社は詳細設計を含む建設工事を行います。

トルクメニスタン政府は、世界第4位の埋蔵量を誇る同国天然ガスの輸出に関し、高付加価値化や輸出・販売ルートが多様化に取り組んでいます。本プロジェクトは、その一環として、海外市場向けに輸出予定のアンモニア・尿素肥料を生産するプラントを建設するものです。

今後も中央アジア・中東・アフリカなどで化学プラント市場における存在感を高め、関連分野での継続受注を目指します。



プラント完成予想図

生活産業グループ

世界第3位のサーモン養殖加工会社を子会社化

2014年10月、株式の公開買付けを通じて、生産量世界第3位のノルウェーのサーモン養殖加工会社 Cermaq ASA (Cermaq社) を子会社化しました。

世界の人口増加に伴う食料需要が増加する中、食肉と並ぶ貴重なタンパク源である水産物の養殖市場は今後も成長が見込まれています。特に、養殖サーモンは環境負荷も低いことから、先進国だけでなく新興国においてもさらなる需要拡大が期待されています。

三菱商事は、国内での流通加工事業を基盤に、近年、海外でのサーモンやエビの養殖事業に参入し、生産から加工・販売までの事業を展開してい



Cermaq社が運営するノルウェーの海面養殖場

ます。Cermaq社の子会社化により、既存事業と合わせた事業規模や、食料分野での生産事業の知見および事業基盤を活用し、グローバル展開を加速させ、持続可能で安全・安心な食料資源の供給体制を確立していきます。



未来への挑戦

～ビジネス現場最前線～

三菱商事は、『経営戦略2015』で掲げる“2020年頃の成長イメージ”の実現に向け、新たなビジネスの可能性に日々挑戦し続けています。
本特集では、シェールガス革命以降新たな可能性を秘めた“北米産LNGの販売事業”、英国で培ったノウハウの欧州各国への展開を目指す“食品・飲料製造販売事業”、の各現場における取り組み事例を社員の声とともにご紹介します。



「新たなエネルギービジネスは 刺激的で大きなやりがい」

Diamond Gas International
深田 佑依子シニアマネージャー

北米産LNGの安定供給を目指し、 日々邁進

2013年9月、三菱商事は、北米産LNG（液化天然ガス）の販売会社として、Diamond Gas International (DGI社) をシンガポールに設立しました。

三菱商事グループは、米国およびカナダにおいて、自らが市場調達または生産した天然ガスを原料にLNGを製造するキャメロンLNGプロジェクトおよびLNGカナダプロジェクトを推進しています。また、DGI社は、日本の電力・ガス会社やアジアの需要家などへのLNG安定供給の実現を目指し、これらのプロジェクトから製造されるLNGを独自に販売・マーケティングする機能を担っています。

「LNGの販売は約20年に及ぶ長期契約となるため、事業環境の変化をはじめとした将来発生し得るさまざまなリスクを想定する必要があります。そのためにも、三菱商事が構築するバリューチェーンにおける川上の状況（北米ガス市場の動向や天



然ガス液化プラントの契約条件など)についてもタイムリーに把握する必要があります。販売先と綿密な協議を重ね、100ページ以上に及ぶ契約書を作成し、契約が締結できた瞬間の喜びは格別です」と語るのは、三菱商事からDGI社に出向している深田。深田は、キャメロンLNGプロジェクトで製造されるLNGの販売やマーケティングのほか、設立間もないDGI社の組織運営業務や人材採用などの幅広い業務を担当しています。また、5歳の長男を連れてシンガポールに駐在。「子育てをしながら、女性が海外で働くためには、友人や上司・同僚などの周囲の方々から“頼る勇気”が必

要です。周囲の理解にも支えられ、育児と仕事の両立を図ることができています」

エネルギー産業の変革期中、LNGビジネスのさらなる発展を目指す

三菱商事は、日本に初めてLNGを輸入した1969年のアラスカプロジェクトに始まり、45年間にわたり、ブルネイ、インドネシア、マレーシア、オーストラリア、サハリンなど、世界各地のLNGプロジェクトに参画し、天然ガスの生産・液化事業やLNG船事業などの幅広い領域で事業を展開してきました。

昨今、シェールガス革命などにより、世界のエネルギー産業は大きな転換期を迎えており、LNGビジネスの可能性はさらに高まっています。こうした中、北米で推進するキャメロンLNGプロジェクトは、東海



DGI社が入居しているMillenia Towerの社窓

岸に位置し、既存インフラ施設の活用により価格競争力に優れており、LNGカナダプロジェクトは、西海岸に位置し、アジアに近い地理的な優位性が魅力。これらに、DGI社が有する独自の販売・マーケティング機能を活かし、両プロジェクトで製造したLNGをうまく組み合わせ、需要家の幅広いニーズに応えることで、エネルギーの長期安定供給を実現していきます。

「シェールガス革命という変革期の中で、北米産LNGのグローバルな販売という新

北米産LNGの安定供給を支えるバリューチェーン



しいビジネスを担当できることは、とても刺激的でやりがいを感じています。お客様との信頼関係は、三菱商事がLNGビジネスにおいて長年培ってきた経験・知見が土

台となっています。今後もお客様のニーズにきめ細かく対応し、信頼関係をさらに深めることで、北米産LNGの販売ビジネスの発展に貢献していきたいと思ひます」

CASE / 2 「食を扱う企業としてお客様の

幅広いニーズに 応え続けていく」

Princes社 伊藤 和男会長

生き残りを懸け、食品販売事業から 製造業に事業領域を拡大

英国小売業を取り巻く事業環境は、1970年代以降、大手スーパーマーケットチェーンによる寡占化（中小小売店の統合・淘汰による巨大化）に伴う購買力の向上、大手チェーンが独自に商品の企画・開発をするプライベートブランド（PB）商品の台頭などにより、大きく変化し続けています。

そうした中で、1989年、三菱商事は、100年以上の歴史を持つブランド力を強みに主に缶詰などの食品販売事業を展開するPrinces社（プリンセス）を買収。その後、プリンセスは三菱商事とともに、厳しい事業環境下での生き残りを懸け、外部からの商品調達を前提とした食品販売事業から、自らが製造拠点を併せ持つ製造業へ



プリンセスの製造工場

未来への挑戦

ビジネス現場最前線

の進出を決断。「飲料」「ツナ缶詰」「ボトルウォーター」「野菜・豆等缶詰」「トマト加工品」など幅広い事業のM&Aを実行し、買収時は1カ所のみであった製造拠点を計14カ所に拡大。また、売上高は買収後の25年間で約9倍に伸長し、英国有数の食品・飲料メーカーに成長しました。

「プリンセスには、長年の事業で培ってきた幅広い商品・業界の知識や、“プリンセス”ブランドの信用力があります。これらに、製造業への進出により確立した品質管理体制や充実した商品開発力を組み合わせることで、お客様の多様なニーズに対応できるようになりました。結果として、プリンセスは今日まで成長し続けることができたと思います」と分析する伊藤は、1999年に三菱商事からプリンセスへ出向し、



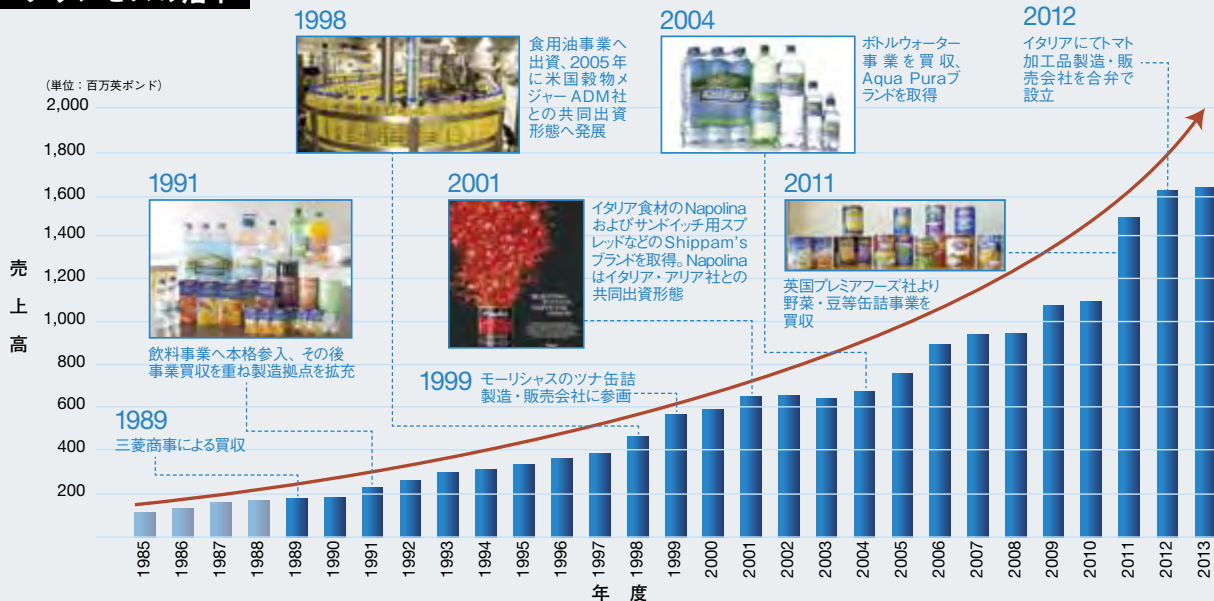
ソフトドリンク原液の製造工程

M&Aも活用しながら事業拡大を一貫して主導してきました。

2007年以降は、プリンセスの会長として経営のかじ取りを行っており、そのやりがいや責任を強く感じています。

「私の最大の役割の一つは、三菱商事の理念や成長戦略をプリンセスに浸透させることです。社員一人ひとりが三菱商事グループの一員であるという自覚と自信を持って仕事に取り組んでほしい。私は、彼らが生き生きと働く姿を見ることで喜びを感じると同時に、今後もプリンセス

プリンセスの沿革





をさらに成長させていかなければならないと実感しています」

また、プリンセスは、自社ブランド商品を展開するほか、大手スーパーマーケットチェーンが手掛けるPB商品の供給を一括受託するなど、日々変化する顧客のニーズに対応できる体制を構築しています。

「お客様の社名を冠したPB商品の生産を委託していただけるのは、価格競争力や販売促進の企画、品質管理体制の充実はもちろんのこと、信頼できる原材料の調達など、プリンセスのきめ細かなサービスに信頼を寄せていただいているからこそ。お客様から“自社で買い付けるよりもプリンセスに任せたい” そう継続的に評価されるよう、これからも当社の強みを最大限に発揮していきたい」

英国で培ったビジネスモデルを強みに 欧州大陸での事業拡大を目指す

英国で顕著となっている小売・食品業界の再編・寡占化は、欧州大陸をはじめ多くの市場でも進みつつあり、今後もその流れは継続することが想定されています。プリンセスはこうした事業環境の変化を見据え、欧州大陸におけるさらなる事業拡大に取り組んでいます。

「プリンセスが英国で培ってきたビジネスモデルは、欧州各国のお客様からも評価していただけていると考えています。欧州といっても、国や地域ごとに多様性に富んでおり、一筋縄ではいかないと思いますが、生活の根幹を担う“食”を扱う企業として、欧州大陸でもプリンセスのビジネスモデルを強みに、お客様のニーズに応え続け、事業を拡大していきたいと考えています」

被災地のニーズに合わせた活動を展開

三菱商事は、2011年の東日本大震災発生直後から復興支援活動を展開。被災した地域の被害状況やニーズに合わせた活動を実施してきました。三菱商事グループのボランティア活動と、2012年春に設立した「公益財団法人三菱商事復興支援財団」の産業復興・雇用創出支援を中心にご紹介します。

三菱商事の
復興支援の
かたち

ボランティア活動

「自分たちも実際に現地に行って手伝いたい」という数多くの社員の声を受け、震災直後から始まった、社員による被災地での復興支援ボランティア活動。今年度は9月末までに355名が参加し、震災発生からの3年6カ月でボランティア活動に参加した三菱商事グループ社員は3,355名となりました。今年度は、コミュニティー農園での農作業（岩手県陸前高田市）や、震災前から廃校となっていた小学校の校舎を子ども向け複合体験施設として再生するプロジェクトのお手伝い（宮城県石巻市）などに従事しています。



社員ボランティアと小林社長（2014年9月 石巻市旧桑浜小学校）

参加者の声

今回初めて被災地に行き、実際に現地に行ってみなければ感じる事ができない部分があったことを実感しました。もともと過疎化が進みつつある地方において、震災によりさらなる人口流出が懸念される中、復興への道りは決して楽ではないでしょうが、このボランティア活動への参加がわずかでも地域復興につながるよう願っています。



廃校再生プロジェクト参加者

地元の声

「ここが子どもたちの憩いの場になる。子どもが走ったら危ないので根っこは抜こう」。三菱商事グループ社員の方々には、「作業」ではなく、

子ども向け複合体験施設の完成後の姿をイメージした「学び場づくり」をしていただいています。社員の方々と、約1年の活動を通じてできたつながりは、私の心の支えとなっています。



公益社団法人 sweet treat 311
安田 健司さん

産業復興・雇用創出支援先

三菱商事は、三菱商事復興支援財団を通じて、地元金融機関と協働し、「産業復興・雇用創出支援」を展開しています。今年度はこれまでに10件の出資・融資を決定し、2012年度からの支援案件は合計で41件となりました。

ナカシヨク



1 イカの加工などを手掛ける水産加工会社。財団の資金を活用して一括仕入れ体制を構築し、生産効率の向上を目指す。

旭屋



3 浪江町から相馬市へ工場を移転。ご当地グルメ「B-1グランプリ」で有名な郷土の味「なみえ焼そば」を製造している。



2014年度新規支援案件

岩手県

水産加工／大槌町

ナカシヨク

1

宮城県

水産加工／気仙沼市

協同水産

農業／気仙沼市

サンフレッシュ小泉農園

水産加工／南三陸町

及川商店

水産加工／石巻市

桃浦かき生産者

2

ワイナリー／仙台市

仙台秋保醸造所

福島県

食品加工／相馬市

旭屋

3

農業／南相馬市

南相馬復興アグリ

食品加工／白河市

しらかわ五葉倶楽部

食品加工／会津坂下町

会津中央乳業

4

桃浦かき生産者



2 牡蠣の生産・加工・販売を一体化させた養殖漁業を営む会社。漁業後継者の育成・確保とともに、漁業の復興を通じて地域の振興を目指す。

会津中央乳業



4 1948年創業の乳業メーカー。高品質の牛乳やヨーグルトの販売に加え、チーズ製造事業を立ち上げ、新ブランドを開発する。

岩手県

宮城県

訪問
できる

復興支援先紹介

気仙沼・陸前高田・大船渡

三菱商事復興支援財団の産業復興・雇用創出支援先の中から、気仙沼・陸前高田・大船渡を中心に、どなたでも訪問可能な施設や観光スポットなどをご紹介します。ぜひ、お立ち寄りください。

海の幸、山の幸が絶品 /



1 陸前高田市 キャピタルホテル1000

2013年11月に新生開業した、広田湾を見渡す高台に立つ都会的デザインの洗練されたホテル。市民の憩いの場としても利用されています。

岩手県陸前高田市高田町字長砂60-1
0192-55-3111



Point!

豊かな自然が育む海の幸と山の幸の地元食材にこだわった料理をご堪能いただけます。



温泉に浸かりながらのぜいたくなひと時 /



2 大船渡市 大船渡温泉

民宿「海楽荘」も経営し、漁師でもある事業者が、2014年7月に開業。獲れたての魚介類をぜいたくに使った料理で三陸の味覚、四季折々の恵みを存分に味わうことができます。

岩手県大船渡市大船渡町字丸森29-1
0192-26-1717



Point!

神経痛、関節痛などに効果があるとされ、日帰り入浴のお客様にも好評。雄大な大船渡湾を一望できます。



東北ならではの素材を使用 /



3 陸前高田市 美食パスタ 椿の森

地域特産の気仙椿の油を使用した生麺が特徴のお店。大槌産のバジルや三陸産の海藻など、東北ならではの食材を活かしたパスタなどの麺類が楽しめます。

岩手県陸前高田市米崎町字川崎226番地
イオンスーパーセンター 陸前高田店 フードコート内
0192-22-7021

Point!

生麺ならではのモチモチとした食感をお楽しみください。

ショッピング & 見どころ満載！

観る・買う



4 気仙沼市

気仙沼 海の市 / シャークミュージアム

「グルメ」「ショッピング」「学び」をキーワードに、気仙沼の海の魅力が存分に楽しめるレジャースポットです。

宮城県気仙沼市魚市場前7-13
0226-24-5755



Point!

日本で唯一のサメの博物館。サメの生態をパネルや模型を使って分かりやすく紹介。また、震災の状況や気仙沼の今を映像でご覧いただけます。



Point!

海の市には、地元有名店が勢ぞろい。土産品の買い物だけでなく、新鮮な海鮮料理も楽しめます。海の町ならではの“元気”と“おいしさ”が満載です。

創業200年を超える老舗の味を堪能！



5 陸前高田市

八木澤商店 一本松店

創業200年を超える老舗醸造メーカー。地元岩手産の原料にこだわった醤油・味噌・調味料のほか、スイーツも製造販売しています。

岩手県陸前高田市気仙町土手影 150-1
0192-47-4371

Point!

安全でおいしく、お土産にもぴったりの商品を販売。カフェも併設されており、ドライブのひと休みにもってこいの場所です。



その他のオススメ観光スポット



奇跡の一本松 / 陸前高田市

津波に耐え、復興のシンボルとして人々に勇気と感動を与えました。現在はモニュメントとして保存されています。

陸前高田市気仙町字砂盛 176-6

(写真提供：河北新報社)

オススメプラン

START!

10:00

気仙沼 海の市 /
シャークミュージアム見学
& お買い物

12:30

美食パスタ 椿の森でお食事

14:00

奇跡の一本松を見学

15:00

八木澤商店でお買い物
& ひと休み

16:30

キャピタルホテル1000 or
大船渡温泉に宿泊

DREAM AS ONE.

～ともに一つになり、夢に向かって～

2014年、三菱商事は創立60周年を迎え、

これまで取り組んできた障がい者支援をさらに強化するため、

障がい者スポーツ応援プロジェクト「DREAM AS ONE.」を立ち上げました。

「障がいを持つ人々がスポーツに親しむ機会を増やしたい」、

「障がい者スポーツが持つ勇気と希望、感動を共有し応援の輪を広げたい」。

競技者と応援者両面への働きかけを行うことで、

ともに一つになって、夢に向かっていける。

私たちはそう信じています。

1 障がい者スポーツの裾野を広げます

2 障がい者スポーツに対する理解度・認知度を高めます

写真：フォート・キシモト

障がい児向けスポーツ教室



- ▶ 障がい児を対象としたスポーツ教室・7人制サッカースクールなどを開催
- ▶ 障がい児に体を動かす場所・機会を提供

セミナー（ボランティア養成講座）

- ▶ 障がい者スポーツの基礎セミナー・ボランティア養成講座を定期的に開催
- ▶ 各種競技大会へのボランティアの参加を促進



スポーツイベント



- ▶ 障がいの有無にかかわらず、一緒に参加できるスポーツイベントを開催
- ▶ 障がい者スポーツに対する認知と理解を高める機会を提供

競技大会

- ▶ 「大分国際車いすマラソン」への協賛
- ▶ 「7人制サッカー」の大会開催の支援・選手育成
- ▶ 障がい者陸上競技大会のサポート



DREAM AS ONE.

始動！

2014年10月16日、三菱商事本社ビルにおいて「DREAM AS ONE.」の発表会を開催しました。当日は、本プロジェクトのアンバサダーとサポーターによるトークショーも行われ、障がい者スポーツの“これから”について熱い想いが語られました。



高橋 勇市さん アンバサダー

日本タタ・コンサルタンシー・サービス(株)所属。高校2年生の時、目の疾患である白点状網膜症と診断される。その後、網膜色素変性症を併発し、34歳で完全に失明。2004年アテネパラリンピックマラソン(視覚障害1)金メダリスト、2006年世界陸上競技選手権オランダ大会マラソン(視覚障害1)金メダリスト。

障がい者スポーツの裾野を広げるためにも、まずはより多くの人に障がい者スポーツを知ってもらい、ボランティアの協力者を増やすことが大切。アンバサダーとしての役割をしっかりと務め、サポーターの皆さん、三菱商事と一つになって、夢を追いかけたいと思います。

車いすマラソンの競技人口が若干少なくなってきたおり、ジュニア世代の発掘・育成は大きなテーマ。このプロジェクトを通じて、競技人口の裾野拡大につなげていきたいと考えています。



佐藤 隆信さん サポーター

三菱商事太陽(株)所属。23歳の時、転落事故により脊髄を損傷し車椅子生活となる。大分国際車いすマラソンには1988年の第8回大会から出場し、今年で22回目となる。

「DREAM AS ONE.」本当に良いタイトルだと思います。ともに一つになり、夢に向かって、誰もが障がい者スポーツを楽しめるように、より多くの取り組みを進めていただきたいです。



根木 慎志さん サポーター

高校3年生の時、交通事故により脊髄を損傷。以後車椅子の生活を余儀なくされる。2000年シドニーパラリンピックでは、男子車椅子バスケットボール日本代表チームのキャプテンを務める。現在は、日本パラリンピック委員会運営委員、アスリートネットワーク副理事長として活躍中。

イベントの立案・企画段階から、企業が持つ知識や経験を活かすことで、誰もが参加しやすいイベントを開催できると思います。多くの方に参加いただくことで、障がい者スポーツに対する理解が高まっていくと考えています。



高田 朋枝さん サポーター

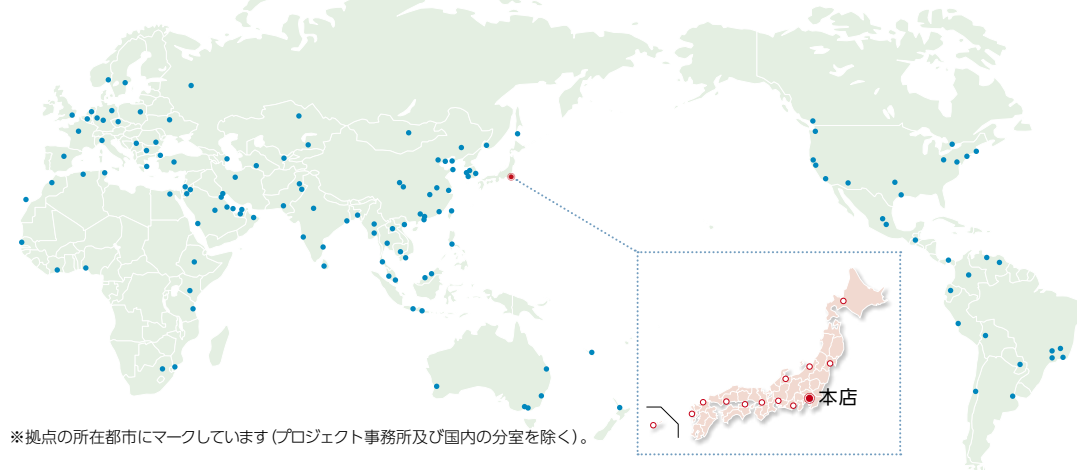
5歳の頃から視力が低下し、網膜色素変性症と診断される。2002、2003年と日本ゴールボール選手権大会準優勝。2007年日本ゴールボール選手権大会で最多得点賞を受賞し、チームを優勝に導く。国際試合でも活躍し、2008年北京パラリンピック第7位入賞。

コーポレートデータ (2014年9月30日現在)

社 名：三菱商事株式会社
 創 立：1954年7月1日 (設立 1950年4月1日)
 資 本 金：204,446,667,326円
 本店登記地：三菱商事ビルディング 東京都千代田区丸の内二丁目3番1号
 従業員数：連結68,383名、単体 5,651名 ※ 2014年3月31日時点の就業人員数を記載しています。
 連結対象会社数：619社

ネットワーク (2014年9月30日現在)

● 本店 ○ 国内 29か所 ● 海外 193か所 (事務所等 109 / 現地法人 本店42、支店等42)



取締役及び監査役 (2014年9月30日現在)

取締役会長	小島 順彦	取締役(社外)	伊藤 邦雄 (一橋大学大学院商学研究科教授)
*取締役社長	小林 健	取締役(社外)	佃 和夫 (三菱重工業(株)相談役)
*取締役副社長執行役員	中原 秀人	取締役(社外)	加藤 良三
*取締役副社長執行役員	柳井 準	取締役(社外)	今野 秀洋
*取締役副社長執行役員	衣川 潤	取締役(社外)	橘・フクシマ・咲江 (G&Sグローバル・アドバイザーズ(株)取締役社長)
*取締役副社長執行役員	宮内 孝久	常任監査役(常勤)	鍋島 英幸
*取締役常務執行役員	内野 州馬	監査役(常勤)	野間 治
*取締役常務執行役員	森 和之	監査役(社外)	辻山 栄子 (早稲田大学商学部・大学院商学研究科教授)
*取締役常務執行役員	廣田 康人	監査役(社外)	石野 秀世
		監査役(社外)	國 廣 正 (弁護士)

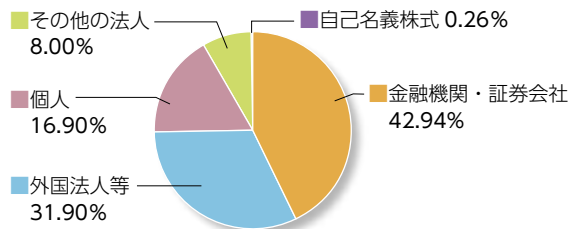
*代表取締役を示しています。
 すべての社外取締役及び社外監査役を、(株)東京証券取引所など、国内の金融商品取引所が定める独立役員として指定しています。

株式等の状況 (2014年9月30日現在)

株式数及び株主数

発行可能株式総数	25億株
発行済株式総数	1,624,036,751株
株主数	273,872名

株主構成 (所有者別の割合)



大株主の状況

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	92,315	5.69
東京海上日動火災保険株式会社	74,534	4.60
明治安田生命保険相互会社	64,846	4.00
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	62,300	3.84
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(三菱重工工業株式会社口・退職給付信託口)	48,920	3.02
株式会社三菱東京UFJ銀行	25,620	1.58
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー 505223	24,911	1.53
野村信託銀行株式会社(退職給付信託・三菱UFJ信託銀行口)	22,088	1.36
ザ バンク オブ ニューヨーク メロン エスエー エヌブイ 10	19,981	1.23
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(退職給付信託口・三菱電機株式会社口)	17,768	1.09

※持株比率は、自己株式(4,273,025株)を除いて算出し、小数点第3位以下を切捨てて記載しています。

(千株未満切捨て)

植樹 News



2011年度よりスタートした株主の皆様と共に推進する地球環境の保全・改善活動『株主の皆様と共に育む豊かな森づくり』。「株主総会招集ご通知」や「株主通信」など、株主の皆様へ紙で郵送している資料をEメールでお送りすることにご賛同いただきますと、株主お一人様につき半期に1本、マレーシアで植樹を行います。2014年度上半期は、2万5,728名の皆様にご協力いただき、これまでに累計17万4,245本の植樹が実現しました。



※詳しくはHPをご覧ください。

⇒ <http://www.mitsubishicorp.com/jp/ja/ir/adr/edelivery/>

東洋文庫創立90周年記念展

岩崎コレクション ～孔子から浮世絵まで

2014年8月20日(水)～12月26日(金)



歌川広重「名所江戸百景」
1856-58年

国宝「文選集注」
10～12世紀(平安時代)写



東洋文庫は、三菱第三代社長岩崎久彌により、東洋学の専門図書館として1924年11月に設立されました。久彌は土地、建物、運営資金を寄付するだけでなく、自身が購入した書物や岩崎宗家に伝わる和漢書を中心とした「岩崎文庫」を東洋文庫に寄贈し、今日の蔵書の礎を築きました。創立90周年を記念して、本展では国宝、重要文化財を含む古写本から浮世絵に至る多彩なコレクションを一挙にご覧に入れます。また、浮世絵展示では、今回初めて春画を公開いたします。「こんな本もあったのか!」という逸品との出会いをお楽しみください。

※浮世絵展示には春画も含まれます。浮世絵展示室の入場は18歳以上の方に限らせていただきます。

「イスラーム」展

2015年1月10日(土)～4月12日(日)

イスラム教は、7世紀中頃にアラビア半島中西部のオアシス都市メッカで興りました。信仰は中東から世界中に広がり、現在イスラム教徒の人口は約16億人とされています。このような世界的宗教でありながら、イスラム教は日本人にとってなじみが薄く、ニュースなどで伝わる情報から形成されたイメージとどまりがちであると言えるでしょう。本展では、イスラム教の誕生、伝播の足跡といった「イスラーム入門編」から、イスラーム文化の多様性まで、豊富な史料で分かりやすくご紹介いたします。



「コーラン」1371-72年書写
シリア地方



F.R. マーティン
「シャール・ジャハーン」
1912年 ロンドン刊

東洋文庫ミュージアムのご案内

住所 〒113-0021 東京都文京区本駒込2-28-21

TEL 03-3942-0280

入場料 一般900円・65歳以上800円・大学生700円・
中高校生600円・小学生290円
※2014年12月26日まで、中学生200円・小学生以下無料

アクセス 駒込駅(JR山手線南口、東京メトロ南北線2番出口)
から徒歩8分
千石駅(都営地下鉄三田線A4番出口)から徒歩7分

開館時間 10:00～19:00 ※入館は閉館の30分前まで

休館日 毎週火曜日(ただし、火曜日が祝日の場合は次の平日)、
年末年始(2014年12月27日～2015年1月9日)

URL www.toyo-bunko.or.jp/museum/

併設の洋風レストラン「オリент・カフェ」も、ぜひご利用ください。
【営業時間 ランチタイム 11:30～14:30(L.O) /デザートタイム 11:30～20:30(L.O)
/ディナータイム 17:30～20:30(L.O)、定休日 火曜日(祝日の場合は次の平日)】

